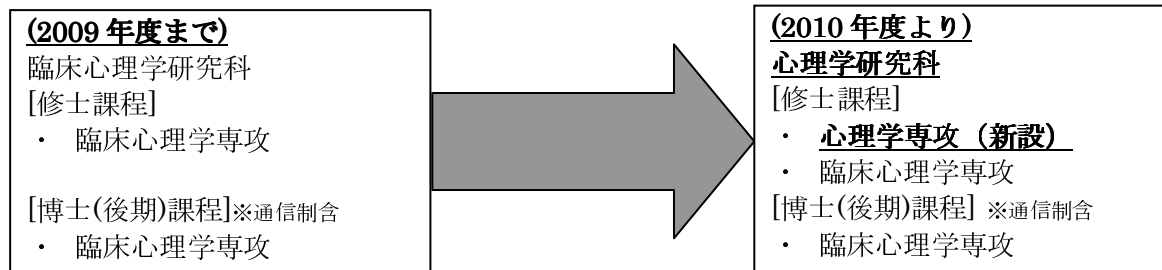


臨床心理学研究科が心理学研究科に生まれ変わり、 新たに心理学専攻を開設します！



これにより、基礎心理学領域と臨床心理学領域のそれぞれの専攻における教育研究を深化させると共に、心理学研究科として連携が保たれることで、より深い人間理解のできる高度な「こころの専門家」の養成が可能となります。

◎ 心理学専攻 (2010年度開設！)

・ 教育研究の理念・目的

応用心理学である臨床心理学の礎となる心理学の基礎領域を理解するため、より専門的かつ高度な知識の習得を目的とします。

・ 教育課程の特色

既存の臨床心理学専攻におけるカリキュラムに加え、新たに基礎心理学領域を学ぶことにより、人間理解をより深めることができます。履修科目としては、臨床心理学専攻の既存の科目（臨床心理士資格認定協会による臨床心理学専攻に特化される科目は除く）と、新たに7科目を設けます。

心理学専攻を修了後の就職先としては、教育機関や研究所において、教育者や研究職、また、警察・相談施設においてカウンセリング等の専門職などを想定しています。更に、一般企業では、商品開発や顧客分析など心理学を活かした職種への就職が期待されます。

◎ 臨床心理学専攻 (臨床心理士養成課程)

・ 教育研究の理念・目的

臨床心理士の育成を主な目的として、「人と人の関係のあり方」に関する適応上の査定や、カウンセリング、臨床心理学的介入としての各種の臨床理論の実施・実践を学び、より高水準の専門性を追求します。

現代の我が国におけるこころの問題、すなわち「居場所を失ったこころ」の問題を解きほぐす心の専門家の養成を目的とします。

・ 教育課程の特色

面接法、カウンセリングなど臨床現場で活用できる科目を設けており、「環境や人に対する不適応」に対応するための理論と実践方法が習得できます。また、臨床心理士資格認定協会の第1種校に指定されているため、実習をはじめ臨床心理領域の科目を中心に学びます。